

障害者放送協議会 シンポジウム

東日本大震災と障害者の情報保障

日時 2011年7月2日(土) 12:30~17:00

場所 [弘済会館](#) 4階 梅・菊(東京都千代田区麹町5-1) JR四谷駅下車5分(定員 100人~150人)

[大阪会場](#):特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構(大阪府大阪市北区東天満2-7-12 スターポート)

参加費 無料

東京 大阪 中継討論

未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、多くの障害者も被災しました。中でも情報アクセスに関してはさまざまな課題が指摘されています。

報道や自治体の防災情報、避難所内でのお知らせなどの内容が分からず、避難行動や避難生活に大きな支障が生じるなどの例は、今なお継続して起こる課題です。さらに、今後の復興と新たなまちづくりに向けて、情報保障に関しても長い取り組みが必要です。

震災から3か月が過ぎた今、情報保障に関する現在進行形の課題と、それに対する取り組みの最新動向についてレポートをいただきながら、今できることはなにか、今後必要なことはなにか、共に考えていきます。

プログラム (敬称略)

12:30	開会挨拶 笹川吉彦(障害者放送協議会 代表) 趣旨説明 矢澤健司(日本障害者協議会/災害時情報保障委員会委員長) ビデオレポート 被災地からの声(手話・字幕・解説付き)
13:00	緊急レポート(各20分×5)被災地等における取り組みの実情 (1)「聴覚障害者にかかわる取り組み」 浅利義弘(全日本ろうあ連盟 理事) 大嶋雄三(「目で聴くテレビ」専務理事) (2)「視覚障害者にかかわる取り組み」 加藤俊和(東日本大震災視覚障害者支援対策本部 事務局長) (3)「精神障害者にかかわる取り組み」 池松麻穂(浦河べてるの家 精神保健福祉士) 吉田めぐみ(浦河べてるの家 メンバー) (4)「災害時における字幕・解説・手話放送について(仮)」 森本清文(NHK編成局計画管理部 専任部長) (5)「震災と情報アクセシビリティ施策について(仮)」 安間敏雄(総務省 情報流通行政局 情報通信利用促進課長)
(休憩)	
15:00	ディスカッション コーディネータ 藤井克徳(日本障害フォーラム(JDF)幹事会議長/ JDF 東日本大震災総合支援本部事務総長) パネラー 高岡 正(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会/放送・通信 バリアフリー副委員長) 岩井和彦(日本盲人社会福祉施設協議会/災害時情報保障委員) 河村 宏(支援技術開発機構/著作権委員長)

	コメンテータ 矢澤健司 寺島 彰 (日本障害者リハビリテーション協会 / 放送・通信バリアフリー委員長) 指定発言等 (フロアより)
17:00	終了

「目で聴くテレビ」で中継放送
 インターネット配信は「目で聴くテレビ」HPより

プログラムの内容は変更する場合があります。
 最新情報はこちらのアドレスから <http://www.normanet.ne.jp/housou/0702/>

【申込方法・問合せ先】

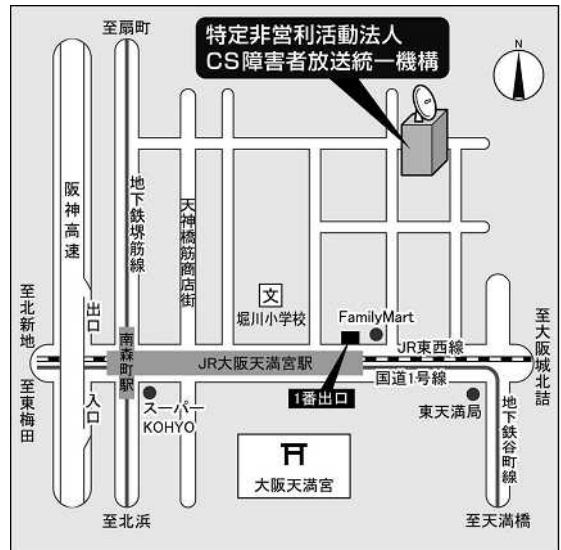
申込用紙に必要な事項をご記入の上、FAX または、メールにて下記の連絡先まで **6月24日まで**にお申込下さい。(先着順・参加証などは特にお送りいたしません。)

事務局 日本障害者リハビリテーション協会
 〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1
 TEL: 03-5292-7628
 FAX: 03-5292-7630
 E-mail: housou.info@gmail.com

【大阪会場 最寄り駅】

JR 東西線 - 大阪天満宮駅
 地下鉄 堺筋線・谷町線 - 南森町駅
 大阪天満宮駅 JR 1番出口徒歩5分

南森町駅と大阪天満宮駅は地下通路でつながっています。



(CS 障害者放送統一機構)

TEL:06-6242-6501 FAX:06-6242-6502

【障害者放送協議会シンポジウム 申込用紙】

お名前(フリガナ)			
ご所属			
ご連絡先	〒 - TEL: FAX: E-mail:		
参加会場	東京	大阪	
介助者	同行する	同行しない	
次の項目で必要がありましたら、印をつけてください。			
手話通訳	要約筆記	磁気テープ	点字資料
車いすスペース	その他()		

申し込みで得られた個人情報は、シンポジウムに関するご連絡、今後のご案内等にものみ使用し、それ以外の用途には使用しません。